

地域再生計画（港整備交付金）事後評価調書

都道府県名	青森県	事業実施主体	青森県	地域再生計画名	下北地域の暮らしを支える港づくり計画
計画期間	平成26年度～平成30年度	評価責任者	青森県県土整備部港湾空港課長、青森県農林水産部水産局漁港漁場整備課長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価	
	指標1	指標2	基準年度		年度	中間実績	基準年度	最終実績		指標総数	達成数		
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	防波堤整備によるフェリー就航率の向上（大間港） ※冬期間（10月～3月）の就航率の向上	92.0%	H23-H24			98.0%	H30	91.3%	△	2	1	防波堤整備は平成30年12月に完了した。目標就航率98%に対し、H30は91.3%となり目標を下回った。原因として主に強大なうねりの影響で欠航したものである。ただし、フェリーの岸壁衝突事故等は整備後に発生していない。一方で、夏期間（4月～9月）の就航率については、整備前（H23-H24の2ヶ年平均）の98%に対し、H30は99%に向上した。
	指標2	安全係船岸充足率の向上（奥戸漁港）	50.0%	H24			100.0%	H30	100.0%	○	2	1	外郭施設（北防波堤及び西防波堤の改良、突堤の新設）の整備に伴い、港内の静穏度が良くなり、荷さばき所前面係船岸の安全係船岸充足率が向上した。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1												
指標2													
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価							
			計画	中間年度（H・R）	最終実績								
特別措置を適用して行う事業	港湾施設（大間港）	防波堤	245m		220m	今回の防波堤整備により夏期間の就航率が向上し、交流人口の拡大や地域住民の交通手段の確保に貢献できたと考えている。さらに、今後交流人口の拡大による地域活性化を図るためには、水産振興・観光振興に係るソフト対策が必要である。							
	漁港施設（奥戸漁港）	外郭施設 係留施設	350m 230m		159m 230m	北防波堤及び西防波堤の改良、突堤の新設に伴い港内の静穏度が向上し、また-3.0m岸壁及び-2.0m物揚場の改良に伴い耐震性能が向上し、かつ作業幅が広がったことから、荷さばき所前面の係船岸等において、安全な陸揚・準備・休けい作業が行われるようになった。このように、外郭施設と係留施設の一体的な整備に伴い、水産生産基盤としての漁港機能が強化され、漁業活動の安全性及び効率性が向上した。							
その他の事業	大間改修（統合補助）波除堤整備事業		大間港を利用する漁船の安全性向上のための波除堤整備			波除堤を整備することにより港内の静穏度が向上し、荒天時に多発していた船上げしている漁船同士の衝突、破損事故が抑制され、漁業者の安全確保が期待される。（防災・安全交付金で整備中）							
	今別地区水産環境整備事業（大間漁場） 下北地区水産環境整備事業（大間漁場）		漁場整備による水産資源の維持・持続的活用の推進			漁港沖合に増殖場及び魚礁漁場を整備することに伴い、ウスマバル等の資源が回復し、また多様な魚類が集まる魚礁漁場が形成され、漁業生産の安定が見込まれる。							
計画外で独自に実施した事業	-												
	-												
④評価方法	船会社及び奥戸漁業協同組合からの聞き取り調査に基づき評価した。												
⑤事後評価の公表方法	青森県企画政策部企画調整課のホームページに掲載。												
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、港整備交付金を活用し港湾施設と漁港施設の一体的な整備を行った。港湾施設では、防波堤を整備することで港内の静穏度が確保され、フェリー航行の安全性が高まり、夏期間（4月～9月）におけるフェリーの就航率が向上した。漁港施設では、外郭施設と係留施設の一体的な整備に伴い、安全係船岸の充足率が向上し、水産生産基盤としての漁港機能が強化されたほか、併せて、支援措置によらない独自の取組として漁場整備を行い、水産資源の維持・持続的活用を推進したことで、目標の漁業活動の安全性及び効率性が向上が達成した。												
⑦今後の方針等	本地域再生計画では、円滑に整備が完了し、港内静穏度の向上によるフェリーの安定的な就航及び漁業活動の安全性及び効率性の向上の目標がほぼ達成する見込みであり、生活圏への交通手段の適時性の確保及び水産生産基盤の機能強化が図られる。今後はさらに、交流人口の拡大による地域活性化を図るため、魅力ある観光ツアー（フェリー乗客等に向けて水揚げされた海産物の供給する等）や水産振興・観光イベントを実施する等、地域の水産振興・観光振興を図る活動を推進していきたい。また、奥戸漁港については、別事業（水産物供給基盤機能保全事業）において、本事業で整備した施設以外の長寿命化対策を推進し、漁業活動の安全性を確保する。なお、今後の利用状況や効果については、「青森県公共事業事後評価実施要綱」に基づく青森県の実績評価制度を活用し、客観性及び公正さを確保した上で検証していくこととする。												